

## 5 「つけておきたい力」と関連させた指導内容の整理

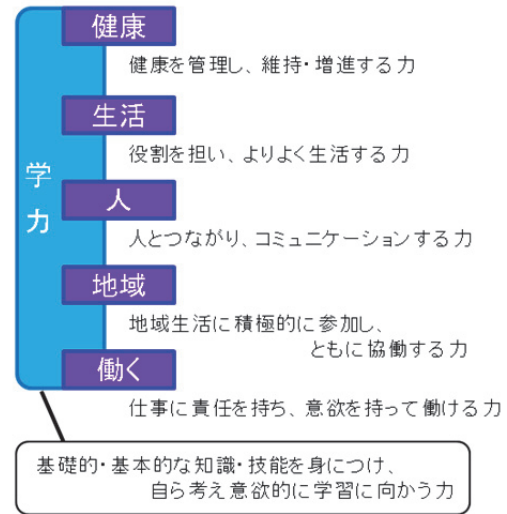
### (1) 宇治支援学校における「つけておきたい力」

「宇治支援学校の概要」の項で述べたように、本校では、卒業後のありたい姿から教育内容をフィードバックして実践することを大切にしています。

「なりたい自分」「なっしてほしい将来の姿」の実現のためには、実際に社会や地域生活で使える基礎的・基本的な学力等を身に付けることが必要です。基礎的・基本的な学力等は、単に読み・書き・計算ができるということだけではありません。日常の活動や対人関係の広がりによって言葉や数への興味が広がり、生活の中で豊かに使われるようになることから、将来の生活の質を高める力につながる大切です。

本校では、こうした卒業後に「つけておきたい力」を明確にするために「健康」「生活」「人」「地域」「働く」の五つに分けて整理してきました。そして、今年度は、これらの力を支えるものとして基礎的・基本的な学力を位置付けました。学力も含むこれらの「つけておきたい力」は、すべての教育活動で意図的・計画的に身に付ける必要があります。

昨年度の文部科学省指定研究においては、「地域学習」を中心に研究し、小学部「参加」「ルール」、中学部「協力」「マナー」、高等部「貢献」「責任」というキーワードを得ることができましたが、今年度は、この到達点を踏まえ、五つの「つけておきたい力」を具体的に各学部の指導場面と関連付け、指導内容の各学部のつながりをめざし、「地域学習」の観点も含んだ整理を行うことにしました。



### (2) 「つけておきたい力」の観点と具体的指導内容の整理

各学部の指導場面で使える12年間のつながりのある教育課程づくりを目的とし、五つの「つけておきたい力」を、小学部から高等部の「いつ」の段階に、「どこ」の場面で身に付けるのかを、具体的に示すために、教育課程ワーキングチームで検討を重ねました。

#### ア 観点に基いた整理

これまで、各学部を俯瞰する明確な指標がなく、それぞれの指導者が個々の児童生徒につけておきたい力を念頭に置きながら、指導のねらいを設定し、指導計画を作成していました。そこで、五つのつけておきたい力をもう少し具体的なキーワードとして表し、小学部～高等部の各教科等を合わせた指導等との関連において、学部の連

続性が表せるよう整理し、「宇治支援学校の12年間でつけておきたい力の観点マトリクス（試案）」（以下、観点マトリクス（試案））としてまとめました。

	健康			生活			人			地域				働く			学力
	基本的な生活習慣	体力・生理的基礎	健康維持管理	日常生活	衣食住	身辺自立	協働	コミュニケーション	自然理解	社会性	企業	参加・つながり	情報の活用	いきがい・やりがい	意識	自己評価	
日常生活の指導	◎◎◎	◎・◎	◎・◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎		◎◎◎		◎◎◎	◎・◎			◎◎◎			◎◎◎
遊びの指導		◎・◎					◎・◎	◎・◎	◎・◎	◎・◎	◎・◎	◎・◎		◎・◎	◎・◎	◎・◎	◎◎◎
生活単元学習		◎・◎	◎・◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎
作業学習							◎◎◎	◎◎◎		◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎
基礎的な学習の時間	◎・◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎		◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎			◎◎◎	◎◎◎
総合的な学習の時間										◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎
特許活動							◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎
音楽							◎◎◎			◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎
図工・美術								◎◎◎		◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎
保健体育		◎◎◎	◎◎◎				◎◎◎			◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎				◎◎◎
情報								◎◎◎					◎◎◎				◎◎◎
自由活動	◎・◎	◎◎◎	◎◎◎			◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎	◎◎◎				◎◎◎

※左から、「小学部」「中学部」「高等部」の順。 ※◎「とくに重点としている」 ○「大切にしている」

（実際の「観点マトリクス（試案）」は、資料編 参照）

この「観点マトリクス（試案）」を目安にすれば、小学部段階と中学部段階、高等部段階でのつけておきたい力の違いが明確になり、つながりのある教育課程づくりの大まかな方向性を得ることができます。昨年度、「地域学習」を中心とした研究活動の中で得た、「貢献」等のキーワードも含んでいることから、この「観点マトリクス（試案）」は、「地域学習」の実践において、学部をつなぐ意識を参考に意識することができます。

#### イ 具体的内容の洗い出し

次に、これまでの単元指導計画・指導案等からつけておきたい力に関連する具体的内容を抽出し、さらに必要と思われるものを加えて書き出しました。そしてこれを分類し、「将来のどんな力」のために、「今どんなことを」が分かるよう、また全校での共通理解となるよう「一覧表（試案）」を作成しました。

（実際の「一覧表（試案）」は、資料編 参照）

健康	生活	人	地域	働く	学力
<b>基本的な生活習慣</b> <食に関すること> ・必要な栄養を摂ること。 ・必要な量を食べること。 ・よく噛んで食べること。 ・朝食が食べること。 ・咀嚼、嚥下ができること。 ・一定時間内に一定量を食べること。	<b>体力・生理的基礎</b> <基礎体力> ・身体全体を使った運動をすること。 ・思い通りに身体を動かすこと。 ・一年を通して安定して過ごすこと。 ・一日活動できる体力をつけること。 ・体力維持に関すること。 ・体調を崩さず生活を送ること。	<b>健康維持管理</b> <医療受診・薬の管理> ・様々な検診を受診できること。 ・また抵抗を減らすこと。 ・薬を飲むこと。 ・確実に服薬できること。			
<b>&lt;生活のしやすさ&gt;</b> ・適切な姿勢を保持できること。 ・前開きの仕上げや衣服・排糞等様々な場面での援助を受け入れられること。	<b>&lt;生活リズム・睡眠&gt;</b> ・規則正しい生活を送ること。 ・毎日元気に登校すること。 ・昼夜の睡眠リズムが確立すること。	<b>&lt;体調管理&gt;</b> ・体調が悪いときや疲れたときに指導者に伝えること。 ・不快や痛みを知らせること。 ・快、不快を伝えられること。 ・体調に応じて活動すること。 ・予防に関すること。			
<b>&lt;排泄に関すること&gt;</b> ・尿意や不快感を知らせること。 ・トイレで排泄できること。 ・トイレの始末ができること。 ・定時排便ができること。 ・尿意等をしき等で伝えること。 ・排便、始末、手洗い等の一連の流れで行うこと。	<b>&lt;障害軽減・克服&gt;</b> ・適切な保護を認識すること。 ・さまざまな姿勢をとれること。 ・ストレッチを受け入れられること。	<b>&lt;心の健康&gt;</b> ・自分の身体や性別に関心を持つこと。 ・成長への期待やこれを待つこと。 ・清潔を保つこと。 ・自分の体を大切にできること。			

この二つの表を参考としながら、個別の指導計画や学習指導案等で、将来の姿を見通した具体的な目標を設定することができます。